



青森空港キャラクター ひこりん

策定の目的

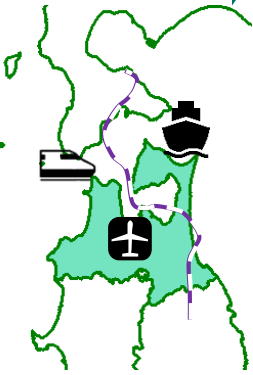
青森空港を取り巻く事業環境が変化中、青森空港関係者が目的意識を共有し、連携を強化することにより、真に魅力ある空港に発展するための指針。

これまでの成果

- 1. 航空会社の新規就航・利用者数の増加**
航空路線：国内線4路線、国際線2路線が開設。
H26ANA、H29天津航空が新規就航。
利用実績：H28年度
定期便 旅客数109万人、貨物量2,611トン
- 2. 利便性の向上**
 - 駐車場料金の減免（9泊まで1000円に据え置き）
 - エアポートラウンジ等の空港ビル内の充実
 - 情報発信の強化
- 3. 空港を核とした地域づくり（賑わい、防災）**
 - 青い森の翼ファンクラブ（A-wing）の創設
 - ホワイトインパルス（除雪隊）のPR
 - 事業継続計画（BCP）の策定
- 4. 適切な空港運営・効率化**
 - 空港関係者の連携強化（年間の取組実績のとりまとめ）
 - 機能の維持（基本施設の改良工事を実施）

現状

- 1. 立地**
青森空港は青森県の中央部に位置する。北海道新幹線開業により新青森駅～新函館北斗駅間が結ばれたほか、青森県は函館や苫小牧とのフェリー航路を有しており、陸海空の交通の拠点となっている。
- 2. 需要特性**
国内線利用者：約94%が青森県を背後圏としている。利用者の約60%が入込客で、40%が青森空港側の居住者。
国際線利用者：約75%が外国人である。日本国内では青森の他、函館、盛岡、仙台、東京等を訪問している。
- 3. 事業主体**
管理運営、利用促進共に複数の関係者が従事。
- 4. 収入・支出**
収入額：主な収入源は、航空会社からの着陸料と駐車場利用者からの使用料金。近年は空港の利用促進を図るため、着陸料の減免措置を実施している。
支出額：除雪関連経費に毎年約5～6億円の費用を要する。委託費は空港の安全・安心な運用に必要な費用であり、保安確保に関しては、保安検査機器やその運用に当たったの航空会社への負担金として支出している。



位置付け

青森空港に関連する既存の施策及び取組を集約して取りまとめるとともに、今後5年間で想定される施策・取組について、委員会及びワーキンググループにおける議論を重ねて策定したものの。

課題

- 1. 青森空港を取り巻く状況への対応**
青森空港の活性化には航空会社、就航先空港、航空需要等外部環境の動向に大きく影響を受けるため、事業環境の把握が重要である。
- 2. 増加する訪日旅客の取り込み**
政府は訪日外国人を今後更に増やすことを目標に掲げており、東京オリンピック、パラリンピック（2021年）及び大阪・関西万博（2025年）が近づくにつれ、一層訪日需要が高まることから、この機会を的確に捉えることが必要である。
- 3. 航空会社や就航先空港の動向把握**
航空会社や旅客ニーズに応じたエアポートセールスや提案活動が必要である。また、就航先空港の変化に応じて青森空港の航空サービスの充実が必要である。
- 4. 広域連携の推進**
日本各地の自治体・空港による空港間競争が激化している。増加する訪日旅客へ、青森空港の強みである「北東北・青函圏の拠点空港」、「立体観光や周遊観光の促進」を通じた広域連携の推進が必要である。
- 5. 空港施設の利便性向上**
利用者の増加に伴う空港ビル、駐車場等の利便性向上や、外国人観光客の増加に伴う空港内外の受入態勢の整備が必要である。
- 6. 空港アクセス（二次交通）の充実**
青森空港が交通の結節点として機能するためには二次交通の充実が必要である。旅行形態が団体から個人旅行へシフトしていることを考慮した取組が必要である。
- 7. 青森空港利用者の満足度向上**
青森空港利用者の総合満足度は10段階評価の6.9（詳細は右図）であった。レストラン・カフェ、物販店の満足度が相対的に低い結果となり、空港ビルのリニューアルを契機とした取組が必要である。
- 8. 防災・賑わいづくり拠点としての役割**
地域の安全・安心を向上させるための防災拠点、並びに賑わいづくり拠点としてより一層の役割を担っていくことが必要である。
- 9. 未利用地の利活用**
青森空港周辺の県有地には、相当面積の未利用地が存在することから、利活用の取組が必要である。
- 10. 空港関係者の連携・強化**
空港活性化ビジョンを推進するため、空港関係者の更なる連携強化の取組が必要である。
- 11. 施設の維持管理**
経年劣化に伴う長期的・計画的な施設の更新が必要となること併せて、維持管理費削減の取組が必要である。

計画期間

平成30（2018）年度から
令和 7（2025）年度までの8年間

目標指標

年間利用客数：130万人

青森空港の役割

北東北・青函地域のゲートウェイ

- 国内外との交流促進
- 地域経済の活性化（産業振興、観光振興等）

活性化ビジョン

基本理念

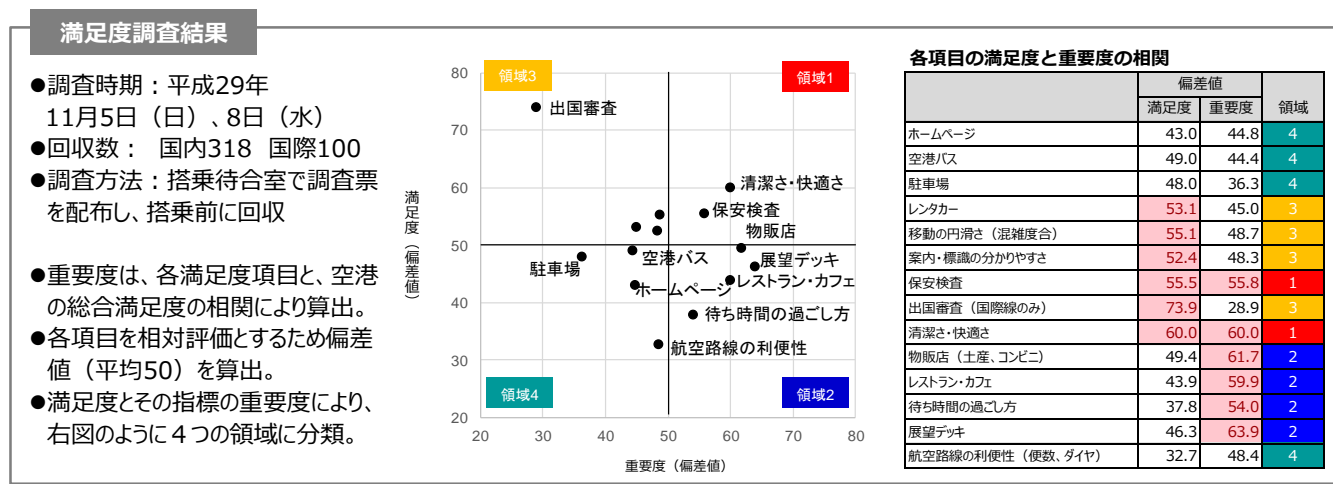
青森空港が北東北・青函地域のゲートウェイとして、国内外との交流促進、地域経済の活性化（産業振興、観光振興等）に資するため、既存路線の利用拡大を図るとともに、増加する訪日需要の機会を的確に捉え、新規国際定期便の開設を目指すなど、真に魅力ある空港として発展するよう全力を尽くします。

政策	施策
航空ネットワークの維持・拡大	地域のゲートウェイとして機能するためには、航空ネットワークの維持・拡大が不可欠であり、既存路線の利用拡大を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピック・大阪・関西万博の開催や増加する訪日需要の機会を的確に捉え、新規国際定期路線の開設を目指します。
利便性の向上	立体観光を促進するための青森空港と地域を繋ぐアクセスの改善、駐車場の利便性向上、観光地や空港等における情報提供や案内標識の充実、空港ビルのリニューアルを契機とした一層の利便性向上を図ります。
空港を核とした地域づくり（賑わい、防災）	青森空港ファンを増やし、空港に対する親近感を醸成するため、航空機を利用する以外の空港利用者の増加を目指し、定期的なイベント等を開催します。また、防災機能の強化を目指します。
適切な空港運営・効率化	安全・安心の確保、法令・規制の遵守、青森空港の機能維持を大前提として、行政負担の軽減と各ビジョンを実現する空港運営体制を目指します。

※各施策に対して取組を例示（別紙一覧表参照）

進行管理

- 今後は、これら関係者がそれぞれ主体性を持って本ビジョン内容を共有し、施策を具体化するよう取組を進めていく。
- 取組をフォローアップするため、当検討委員会を毎年開催し、各主体が取組状況等の報告を行う。
- 進行管理を強化するため、取組に対する課題や解決の方向性を取りまとめ、関係者で共有する。
- 青森空港で予定されている主要なイベント等について四半期ごとに情報を集約・一元化する。



取 組 一 覧 表

政 策	施 策	取 組	主な実施主体	新規・継続	現状	目標
(1) 航空ネットワークの維持・拡大	①既存路線の利用拡大	継続的なキャンペーン、インセンティブ、プロモーションの実施	誘客・振興・促進	継続	年間利用者数 109万人 国際線週7便	130万人 週9便
		立体観光の促進	誘客・観機	新規		
		国内外の観光客誘致	誘客・観機	新規		
		地元企業・県外企業の出張需要の利用喚起	振興・促進	新規		
		乗り継ぎ利用の促進（羽田、伊丹、仁川）	交通・誘客・促進	継続		
		就航先での認知度向上による冬期の利用拡大を含む需要の底上げ（伊丹、名古屋）	交通・振興	新規		
	②機材の大型化・増便	既存路線の利用拡大（①既存路線の利用拡大と関連）、航空会社への要望・提案	交通	継続	羽田便 B737-800	機材の一部大型化 B767等
		増便に対応した空港バスの増発等、二次交通の整備	交通	新規		
		座席供給量の増加に応じた対応、連携調整（グランドハンドリング・給油等）	交通・港湾・空ビ	新規		
	③チャーター便の増加	トップセールスの実施	交通・誘客・促進	継続	航空貨物 1,750t	2,300t
		航空会社、旅行会社との継続的な交渉	交通・誘客	新規		
		道南エリアや近隣県との連携強化	交通	継続		
		観光地の受け入れ態勢の強化	誘客・観機	継続		
	④新規乗り入れ航空会社の誘致	誘致対象路線の絞り込み、航空会社の特徴把握、潜在需要の把握、航空会社の計画担当者との積極的な面談・交渉	交通	新規	航空貨物 1,750t	2,300t
		旅行会社との交渉、旅行商品の造成・販売支援	誘客	新規		
		トップセールスの実施	交通・促進	新規		
		インセンティブの提供に向けた空港関係者の連携強化	交通・港湾・空管	新規		
		就航先でのプロモーションの実施	誘客・振興・促進	新規		
		立体観光の促進	誘客・観機	新規		
		空港バスの増発等、二次交通の整備	交通	新規		
⑤航空貨物の利用促進	新規乗り入れに応じた対応、連携調整（グランドハンドリング・給油等）	交通・港湾・空ビ	新規	航空貨物 1,750t	2,300t	
	A!Premium 青森県総合流通プラットフォームの青森空港の活用検討	港湾	新規			
	小型機材用保冷コンテナの開発に関する情報収集	港湾	新規			
	機材大型化に向けた航空会社への働きかけ	交通	継続			
(2) 利便性の向上	①二次交通の充実、駐車場の利便性向上	乗合タクシー及び定額タクシーの導入、支援	交通	継続	総合満足度 6.9	7.8
		レンタカー利用促進に向けた対策	空ビ	継続		
		柔軟な駐車場料金の設定（国際線利用者等へのインセンティブ等）	港湾・空管	継続		
		駐車場の増設の検討	港湾・空管	新規		
	②情報提供の充実、案内標識の整備	空港のホームページの内容充実（青森空港に関する横断的な情報提供の実現）	全て	継続	総合満足度の他、 個別項目ごとに 満足度の向上を 目標に設定	7.8
		定期的な情報発信、Facebook等のSNSによる情報発信	全て	継続		
		空港での出来事（航空機、除雪風景、売店・レストラン）、イベント情報、青森空港利用体験記等、定期的な情報発信	空管・空ビ	新規		
		空港到着ロビー、空港バス内での情報提供の充実	空ビ	新規		
		案内誘導サインの充実	空管・空ビ	継続		
		外国人観光客の受入態勢の充実	空ビ	新規		
	③快適な待ち時間を過ごすための空間づくり	レストラン・カフェ、物販店の充実	空ビ	新規	総合満足度の他、 個別項目ごとに 満足度の向上を 目標に設定	7.8
		快適な待ち時間を過ごすための空間づくり（ユニバーサルデザインの充実、エアポートルoungeの拡張）	空ビ	新規		
		空港ビルのリニューアルについての情報発信	空ビ	新規		
(3) 空港を核とした地域づくり（賑わい・防災）	①空港用地・施設の最大活用	未利用地の活用検討、事例分析	港湾	新規	検討の実施	検討の継続＋ 新規検討の実施
		ターミナル地区整備計画の検討（駐車場の増設検討を含む）	港湾	新規		
		再生可能エネルギー事業の導入検討	港湾	継続		
	②空港でのイベント・催事の開催	「青森空港・空の日フェスタ」等既存イベントの集客促進	空管	新規	イベント回数 7回/年	10回/年
		季節折々のイベント、青森ならではのイベント（ホワイトインパルス等）の実施	空管・空ビ	新規		
		「青い森の翼ファンクラブ」の活動充実	交通	新規		
		外国人客等の歓迎行事の充実	誘客・空ビ・促進・観機	新規		
	③知名度の向上	青森空港のキャラクター「ひごりん」のグッズ作成、販売	空ビ	継続	実施	実施の継続
		就航先でのプロモーションの実施（既存路線の利用拡大と関連）	振興・促進	新規		
	④防災機能の強化	ターゲット別の施策・取組の実施	振興・促進	新規	BCP協議会 開催回数 1回/年	1回/年（継続）
		青森空港の防災機能の検証と機能強化	空管	継続		
		空港BCPの確立に向けた訓練の実施	空管	新規		
(4) 適切な空港運営・効率化	①安全・安心の確保	大規模災害発生時の滞留者（航空機利用者）への対応の充実検討	空管	新規	維持更新 実施	実施の継続
		青森空港の適正な管理運営（安全・安心の確保、機能維持）	港湾	継続		
		空港運営に係る年次報告書の作成・公表	港湾	継続		
		管理運営主体と利用促進主体との緊密な情報共有と連携強化体制の構築	全て	新規		
	②空港運営の可視化・空港関係者の連携強化	青森空港活性化検討委員会の継続的・定期的な開催による状況報告と意見交換、施策の進行管理と連携強化	港湾	新規	イベント情報の 共有 未実施	実施
		空港関連イベント等の情報を集約・一元化	港湾	新規		
		委託業務の包括化、複数年契約の実施	港湾・空管	継続		
	③日常の維持管理費の削減	光熱水費の省エネルギー化	港湾・空ビ・空管	継続	維持管理費削減 未実施	実施
委託業務の包括化、複数年契約の実施		港湾・空ビ・空管	継続			
④空港運営の民間委託に関する検討	コンセッションの情報収集、並びに方向性の検討	港湾	新規	事例調査	情報収集・方向性検討	

港湾：港湾空港課、交通：交通政策課、誘客：誘客交流課、空管：青森空港管理事務所、空ビ：青森空港ビル(株)、振興：青森空港振興会議促進：青森空港国際化促進協議会、観機：青森県観光国際交流機構